

# お知らせ

## 農業を始めたい方を支援する国の制度「青年就農給付金」を活用しましょう

本制度は、地域農業を担う経営者を育成するため、就農前の研修を支援する「準備型」給付金、就農直後の所得確保を支援する「経営開始型」給付金を給付するものです。

制度の概要については以下のとおりですが、給付金を受給するためには、所定の要件を満たす必要がありますので、詳細は喜多方農業普及所、市町村にご相談ください。

農林水産省ホームページ ([http://www.maff.go.jp/j/new\\_farmer/n\\_syunou/roudou.html](http://www.maff.go.jp/j/new_farmer/n_syunou/roudou.html)) も御覧ください。

	準備型（研修期間の所得確保）	経営開始型（就農直後の所得確保）
概要	農業技術及び経営ノウハウの習得のための研修に専念する就農希望者を支援します。	経営リスクを負っている新規就農者の経営が軌道に乗るまでの間を支援します。
要件	県等が認める研修機関（農業短大等）、先進農家、先進農業法人で研修を受ける場合、原則として45歳未満で就農する者に対し、研修期間中について年間150万円を最大2年間給付します。	人・農地プランに位置づけられている（又は、位置づけられると見込まれる）原則45歳未満の認定新規就農者等について、年間最大150万円（夫婦共同の場合は最大で年225万円）を最長5年間給付します。


## 福島県農業総合センター農業短期大学校 「アグリカレッジ福島」平成29年度学生募集

農業短期大学校では、実践的な農業の技術力と経営力を備えた地域のリーダーとなる農業者を育成するため、学生を募集しています。

	学科名	募集人員
農業経営部	水田経営学科／野菜経営学科	各15名程度
	果樹経営学科／花き経営学科／畜産経営学科	各10名程度

募集要項、パンフレットについては、喜多方農業普及所にお問い合わせいただくか、農業短期大学校農学部教務管理（0248-42-4113）までご請求願います。

**安全 第一** **秋の農作業安全運動展開中 平成28年9月1日～10月31日**



1. 余裕を持って作業しましょう。
2. 高齢者の事故に注意しましょう。
3. 機械点検・清掃時はエンジンを止めましょう。

福島県農作業安全運動推進本部

## 稲わらは燃やさず、有効活用しましょう！

稲わら焼却は、会津産米及び観光地のイメージ低下、住民からの煙害等の苦情、交通障害、火災発生の危機等を引き起こします。稲わらをすき込むことで、堆肥施用と同等の土づくり効果が期待できます。秋のすき込みを行い、稲わらを有効活用しましょう。



～ 内容に関するお問い合わせ、農業に関する相談はこちらへ～

会津農林事務所 喜多方農業普及所  
 住所 〒966-0901 喜多方市松山町鳥見山字下天神6-3  
 電話 0241-24-5743、5745 FAX 24-5746 E-mail [kitakata.af04@pref.fukushima.lg.jp](mailto:kitakata.af04@pref.fukushima.lg.jp)  
 ホームページ [喜多方農業普及所](#) [検索](#)

2016  
**10**  
No.146

# 喜多方普及だより

## 祝 福島県農業賞（農林水産大臣賞）

### 三橋 和久さん 恵美子さん（喜多方市塩川町）



9月9日授賞式にて

三橋和久・恵美子さん御夫妻が、第57回福島県農業賞（農林水産大臣賞）を受賞されました。

三橋さん御夫妻は、現在、トルコギキョウ42a、ストック8a、水稲635aの農業経営を行っていますが、和久さんが就農した昭和55年当時は水稲3ha、加工トマト15aの水稲を中心とした経営でした。その後、地域の担い手として利用権設定等により水田面積を拡大するとともに、経営に花き部門を導入し、平成2年にトルコギキョウ10aを導入してからは、徐々に面積を拡大し、現在のトルコギキョウを中心とした収益性の高い農業経営に発展させてきました。

三橋さん御夫妻は、毎年何か一つは工夫することをモットーにトルコギキョウの品質向上や生産量の増加に取り組まれており、その工夫の一つである地下水を活用して地温を下げる方法は、需要はあるが栽培が最も難しい10月に高品質のトルコギキョウを生産することを可能にし、高級ブランド店の得意先への贈り物に利用されるなどの成果に繋がっています。

今後は、トルコギキョウの栽培面積を更に拡大するとともに、加工等新たな部門の導入なども検討されており、現状に満足することなく新たな経営展開に意欲的であり、今後のますますの活躍が期待されます。





## 祝 共励会で日本一 齋藤栄信さん (喜多方市塩川町)

7月に東京食肉市場で行われた第18回全農肉牛枝肉共励会（全国規模の共励会）において、塩川町の齋藤栄信さんが「和牛雌の部最優秀賞」を受賞されました。

齋藤さんは、元々は、和牛肥育牛経営でしたが、原発事故の風評により肥育牛経営が大きな影響を受けたことから一大決心し、新たに繁殖牛経営も開始することとし、現在繁殖牛26頭と肥育牛41頭を飼育しています。

今回最優秀賞を受賞した牛の母牛は、飯館村で生まれた牛であり、齋藤さんは、今も避難を余儀なくされている飯館村の畜産農家を思い、心を込めて大切に育て上げ、今回の受賞となりました。

喜多方地域は全国有数の力のある和牛生産者が多数いる地域です。今後も産地の維持発展のため、生産者が切磋琢磨するとともに、高い技術を引き継ぐ若い後継者の育成に取り組み、福島の畜産復興に向け、ますます活躍されることを期待します。



## 今年もお願いします「米の全量全袋検査」



今年は紫色です。昨年のオレンジ色のラベルは使用できません。

「縁故米」、販売される「ふるい下米」、飼料用米など「収穫されたすべての米」です。全量全袋検査を受けて、検査済みラベルが貼られた米袋だけを出荷・販売あるいは「飯米」、「縁故米」として利用されるようお願いします。

平成27年産米の喜多方地域の検査件数は、約102万件（平成28年7月20日現在）となっており、すべて基準値以下という結果となっています。御協力ありがとうございました。

平成28年産米もすべての県産米の安全性確保と一層の信頼向上に向けて、引き続き「米の全量全袋検査」を実施いたしますので、御理解と御協力をお願いいたします。**検査の対象となる米**は、出荷・販売する米はもちろんですが、自家用の「飯米」、親戚などに配る

## 穀類モニタリングについて

平成28年産の穀類は、市町村ごとに大豆は3点以上、その他は1点以上モニタリング検査を行います。出荷販売が可能となった市町村については、普及所にお問い合わせください。また、普及所ホームページにも掲載していますのでご確認ください。

### 【対象品目】

- 大豆、そば（夏そば、秋そば）
- 麦類（小麦、二条大麦、六条大麦、はだか麦、ライ麦）
- 小豆
- 雑穀（ダツタンソバ、アワ、キビ、ヒエ、ハトムギ、アマランサス、食用ソルガム）

県内の穀類のモニタリング検査実施状況については、福島県水田畑作課のホームページ（「平成28年産穀類のモニタリング検査の市町村別進捗状況」<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36035b/daishinsai-kokurui-monitoring-shinchoku-28.html>）から確認できます。

## トピックス 新しい除草機を紹介します。

### 【水田乗用除草機】

車体中央部に除草機が搭載されているため、条合わせが容易で、除草状況を確認しながら作業を行うことができます。また、後部に除草用のチェーンを装着することもできます。6月14日に熱塩加納町で実演会が行われ、活発な意見交換が行われました。今後の普及及び改良による除草能力の向上が期待されます。



### 【自走式蒸気処理除草機】

過熱水蒸気を使って地表面に落ちていた雑草や作物の種子を駆除し、次作の雑草を減少させることができます。7月22日に豊川町の小麦収穫後のほ場で実演会が行われました。問題となっている雑草イネ等の難防除雑草対策として期待されます。平成28年度よりレンタル利用および受注生産が開始されています。10月には水田での実演を行う予定です。



## 「ミネラル野菜の家」(西会津町)

西会津町の国道49号線沿いにある道の駅よりっせに、平成28年8月2日、新たにオープンしました。町特産の「ミネラル野菜」やきのこ、米、加工品を販売する直売スペースと、農林産物加工品販売（テナント）スペースがあります。「ミネラル野菜」とは、町での「健康の町」宣言を契機に始まった、畑の



の土壌分析の結果による土づくりを行って生産する、こだわりの野菜です。また、テナントではみそラーメンやカレーライス、そば等のご当地グルメが販売されており、いずれもミネラル野菜が材料として使用されています。今後は、「ミネラル野菜の家」での販売を通じ、「ミネラル野菜」のブランド化を進めていく計画です。

## ガンバってます！ミネラル野菜普及会 (西会津町)



にしあいつ健康ミネラル野菜普及会は、西会津町の会員71名で、「ミネラル野菜」を生産し、「ミネラル野菜の家」やスーパー等で販売しています。平成12年、「ミネラル野菜」を栽培していた町の女性を中心に、普及会が設立され、活動が始まりました。普及会の活動は、会員の生きがいがづくりはもとより、町民の健康づくりや地域の活性化にも貢献しており、平成26年には、豊かなむらづくり全国表彰で、農林水産大臣賞を受賞しています。

武藤佐代子会長は、「道の駅の売場が新しく、広くなったため、安全でおいしい野菜をもっと生産したい！」と意気込んでいらっしゃいました。オープンしたばかりの「ミネラル野菜の家」で、ぜひお買い求めください。